



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」

～地域と共に生きる長崎同友会 会勢 600 名を達成しよう!～



代表理事

松 尾 慶 一

謹賀新年

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。さて、中小企業家同友会の活動、運動もお陰をもちまして今期も順調に推移しておりますのは、会員皆様の精進と経営努力の賜物と感謝申し上げます。

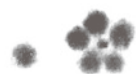
今期も数々の行事が開催されました。その中で感謝の意を込めて私の強く印象に残っている出来事をお伝えします。4月には念願の会員名簿を活動の手引きと合体して10年ぶりに発行致しました。そして、第43回定時総会は、三重同友会より(株)宮崎本店 宮崎由至さんを記念講演にお呼びして多くの来賓と会員で開催しました。5月の理事会では、全国大会の誘致を決定し中同協に申請した結果2019年に全研を開催する運びとなりました。また本県も五島支部を有しますが、九州・沖縄ブロック役員研修会で宮古島支部を訪れ同じように心のこもった歓迎に涙しました。6月に入るともはや恒例となった中小企業憲章・条例推進月間のキックオフ集会を衆議院議員会館で全国の代表理事や役員と国会議員の皆さんと推進していく決意を交わしました。熊本で開催された女性経営者全国交流会には23名、7月の新潟での定時総会にも8名での参加は、まさに全国大会を長崎で開催するぞという心意気の表れだと嬉しく感じました。

そして7月より各支部で、長崎支部に触発され新入会員を対象にフォローアップセミナーが始まりました。その結果、様々な動機で入会された新しい仲間たちが同友会活動についてより深く学び、新たな課題を認識し取り組む決意をされました。8月には、会員同士でも面識が無く、会外からはどのような会ですかと興味を持ってもらい、会員の帰属意識を高めるための『長崎県中小企業家同友会会員之章』を全員貼っていただきました。そして、理事会で外形標準課税適用拡大反対の30000名署名運動を決議し一斉に行動しました。その顕著な例が長崎支部における9月の浜の町街頭署名活動です。会内では会員の税理士さんに判り易く説明をしていただき、街頭で一般の皆さんに説明して多くの署名をいただきました。10月、大分での中同協役員研修会にも多くの参加をいただき、宮田正一会員が鹿児島同友会経営フォーラムで、上田五月男会員が11月の福岡同友会経営フォーラムで分科会報告者を務められ、中村こずえ会員が今年2月に富山同友会や熊本同友会の例会報告者を務められるのは、長崎から各地へ出向いた成果ではないでしょうか。

それから、一番の成果は仲間づくり委員会が、増強DAYから増強WEEKへと発展させ、多くの仲間たちが増えたことです。結びに会員の皆さん一人一人にポスターの活用を改めてお願い致します。長崎県下の全ての金融機関と行政機関に掲示していただきました。仲間づくりのツールとして活用してください。皆様と共に決めた第4次ビジョンに基づき、今期600名を達成し、来期700名を目指します。

目次

代表理事 年頭の挨拶	1	(株)長崎地研 第36期 経営計画書発表会 参加報告	11
2015年 慶祝対象者の皆さん	2	増強ウィーク2015 告知	12
12月例会報告	2	第45回 中小企業問題全国研究集会 告知	13
青年経営者会クリスマスプレゼント事業報告	8	入会・複会会員紹介	14
会員活躍	8	2月例会案内	14
日本政策金融公庫・商工組合中央金庫 覚書 調印 報告	9	理事会議事録 抜粋	15
2014年度 全国事務局長会議 参加報告	9	会員消息・会員数	16
第26回 中小企業憲章・条例推進本部会議 参加報告	10		



2015年 慶祝対象者の皆さん



(敬称略)

喜古	寿希	長諫	崎諫	出諫	島早	大早	嶋早	木田	祥雅	子弘
		諫	諫	諫	早	松	森	田	一	成
		佐	世	世	早	川	宮	上	千	尋
		五			保	森	森	崎	利	夫
		五			島	池	池		利	津
還	曆	長	崎	浦	上	松	飯	田	勝	隆
		長	崎	浦	上	松	飯	本	繁	文
		長	崎	出	島	飯	彭	田	実	則
		長	崎	出	島	彭	川	下	義	暉
		佐	世	保	保	川	木	下	眞	文
		佐	世	保	保	木	藤	本	正	博
		佐	世	保	保	藤	山	本	尚	美
		佐	世	保	保	山	横	石	正	彦
		佐	世	保	保	横		石	た	ま
									ま	き

厄入	長大	崎大	浦大	上村	山村	山高	崎高	瀬名	邦	晃彦
	大	大	大	村	村	細	名	町	行	久
	島	島	島	原	原	大	浦	田	裕	弘
	島	島	島	原	原	田	田	田	憲	典
	佐	世	世	保	保	小	古	立	雅	明
	佐	世	世	保	保	下	島	島	忠	雄
	佐	世	世	保	保	豊	島	川	尚	久
	佐	世	世	保	保	東	島	本	譽	樹
	佐	世	世	保	保	古	川	並		志
	佐	世	世	保	保	松	本	会		健
	佐	世	世	保	保	八	並	芹		聖
	佐	世	世	保	保	渡	会	橋	祐	学
	北	松	松	浦	浦	井	芹	橋	裕	二
	北	松	松	浦	浦	大	橋	橋	尚	貴
										生

～ 皆様 おめでとうございます!! ～

長崎支部 例会報告

日 時	12月17日(水) 午後6時30分
会 場	ガーデンテラス長崎
内 容	忘年例会



この冬一番の寒波により積雪もみられたこの日の長崎市。稲佐山中腹にあって、そのところどころに雪の残る長崎市内を一望できる、ガーデンテラス長崎ホテル&リゾートにて長崎支部忘年例会は行われました。

まずは、会場に設けられた階段よりスポットライト



を浴びて出口支部長が登場という派手な演出で幕開けとなりました。出口支部長は挨拶で今年最も嬉しかったこととして10月の経営フォーラムの大成功をあげられました。内容も財務も参加者もすべて満足のいくフォーラムだったと喜びのスピーチでした。続いて、そのフォーラム大成功の立役者、山口例会委員長が出口支部長よりフォーラム実行委員長を依頼された時のエピソードや最初は不安だった事などをスピーチされました。山口例会委員長のフォーラムにかけた熱い思いに感動を覚えたのは私だけでは無いと思います。

続いて、二胡とギターのアコースティックデュオ、

“クレイン”のライブのあと池田副支部長（浦上地区会長）の乾杯で宴会スタート。そしてお待ちかね企業PR & お楽しみ抽選会で会場は大いに盛り上がりしました。高額商品をゲットした人、何も当たらなかった人も楽しいひと時を過ごすことができました。

最後は中村副支部長（出島地区会長）の3本締めでお開きとなりました。外はとても寒かったですが、やはり長崎支部は熱かった！これが私の率直な感想です。

（文責 増田 哲郎）



大村支部 例会報告

日 時	12月18日(木) 午後7時
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「経営指針で見てきたわが社の未来像」 ～みんなに背中を押されて気づいた次のステップ!～
報 告 者	(株)恵比寿組 代表取締役 谷 信一郎 会員



今月の例会は、(株)恵比寿組の谷さんに「経営指針で見てきたわが社の未来像」というテーマで報告をしていただきました。

谷さんは働きながら高校を卒業し、現在に至るまで設備関係のお仕事に従事されてきました。設備会社に所属しながら多くの失敗や経験を積み、個人事業主として独立され従業員も雇用されていましたが、当初は何も考えず自分の仕事だけをすればいいという考えでいたそうです。しかし、リーマンショック後突然仕事の依頼が入ってこなくなり、従業員も辞めていってしまいました。ショックの反面ほっとした気持ちもありましたが、その時自分が経営者として失格だと痛感させられました。それからどうすればいいのかと迷っているときに同友会に勧められて入会し、素晴らしい出



会いに恵まれ、例会や委員会に参加していくうちに経営者としてしっかりしなければと認識し、もう一度従業員を雇用していきたいと決意されました。

今回、谷さんは“大村方式”によって経営理念を作成されました。今年6月に法人化し、この先をどうしたらよいかと考えているときに、経営理念を作ってみないかという誘いがあり実現しました。最初はなかなか思いが出てこなかったそうですが、次第に自身の会社の目指すべきところ(自分の家族、従業員の人生、共に成長していきたい…など)がはっきりとし、迷ったときに立ち返る基本ができて非常に良かったとおっしゃられました。

“大村方式”の経営理念の作成は、多くの会員がそのために協力してくださって、到底一人では考えられないような素晴らしい理念が作れるのではないかと感じました。

今はまだ自分の基盤もしっかりしていない状態ですが、将来経営者になった時、経営指針を作成し、自分の会社が家族、従業員、そして関係する全ての人を幸せにできて、誇れるような会社にしていきたいと思いました。

（文責 橋口 仁一）

諫早支部 例会報告

日 時	12月16日(火) 午後7時
会 場	四季の蔵 食楽亭
内 容	忘年例会



今回は、諫早支部の定例となりつつある忘年会を兼ねた例会で、「報告を聞くこともなく、グループディスカッションもなく、グループ発表なく、皆でおいしいお酒を飲みたいと思います。」という前書きのもとで始まりました。

スローガン唱和、ゲスト紹介、支部長挨拶、そして、(株)豊恒 常務取締役 川野雄輔さん、エコロミー代表 小柳順一さんの新入会員2名へのバッジ贈呈式、委員会報告を完了し、懇親会へと入っていきました。

懇親会では抽選会があり、当選した方から自由に商品を選んでいき、その後にショートスピーチにて今年の反省と来年の目標を発表していただきました。お酒



が入った中でのショートスピーチでしたので、それは素晴らしいものばかりでした。又、自由に商品を選ぶ抽選会でしたので、皆さん素晴らしい商品をゲットしておりました。

和気あいあいの楽しい、一年を締め括る例会でした。

(文責 前田 義幸)

島原支部 例会報告

日 時	12月11日(木) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ マ	伝説のチームをつくろう ～あたたかいたくましい組織の作り方～
報 告 者	鶴田歯科医院 院長 鶴田 博文 氏

今月の例会は、医療法人 良陽会 鶴田歯科医院の理事長 鶴田博文さんに「伝説のチームを作ろう」をテーマに、「人」を大事にした、みんなが輝ける環境をつくる取り組みを熱くご報告いただきました。

学生時代、とある歯科医院で、鶴田先生の見解や許可を得ず抜歯され不信感を持った経験から、33歳で開業した鶴田歯科医院では、患者さんにコンサルテーションルームで治療方針を丁寧に説明し、納得いただいた上で治療が行なわれています。患者さんと一つ一つ信頼関係を築く事を大事にされていることで、現在



では治療の患者さんと同じくらい予防歯科に來られるお客様も多く、初診の予約は3週間先まで埋まっている程の人気だそうです。

しかし、患者さんに笑顔になっていただけるようにと理想を追求したあまりスタッフは疲弊し、またスタッフとの信頼関係が壊れて

しまった時期もあったそうです。それからは、スタッフと「会話」を重ねて、価値観と仕事観の統一を図り、クレド(信条)や治療方針を設定して職場環境を整えた上で、スタッフを信頼する事からやり直されました。スタッフとの信頼関係を築いていけた事で雰囲気も良くなっていったそうです。



最後に経営の目的を、「美しい花が咲く豊かな土壌をつくる」つまり「社員が輝ける会社をつくる」事だとおっしゃいました。

私自身、良い会社を作りたいと思っていてもどうすれば良いか分からず、お客様との関係、スタッフとの関係に日々悩んでいましたが、今回の報告でお客様との信頼関係・スタッフとの信頼関係を築く事が大事なのだと改めて気付き、このような素晴らしいチーム(組織)を作りたいと思いました。

また、「仕事」と「作業」の区別をはっきり認識することができました。人に喜んでいただいた時が「仕事」をした時で、心が込もっていない時、人が喜んでいない時は、ただの「作業」だと。我社も日々の仕事を思い返してみると、作業になってしまっていた事が

多々ありました。お客様やスタッフとの信頼関係を築く事を大事にし、おもてなしの心を持ってチームとして「仕事」に取り組んでいきたいと思います。

(文責 松本 龍亮)



佐世保支部 例会報告

日 時	12月18日(木) 午後6時30分
会 場	JAさせぼホール
テ ー マ	中小企業と共に成長する佐世保市の活性化 ～県北地区の発展を担う中小企業に向けて～
報 告 者	佐世保市長 朝長 則男 氏

今月の例会は、佐世保市長 朝長則男さんにお越しいただき「中小企業と共に成長する佐世保市の活性化」について、報告いただきました。

■佐世保市の現状、人口減少の対策

未婚率の解消 出生率を上げる(佐世保 de 愛プロジェクト・させぼ de まちコン他)

子育てしやすい環境(就労支援・経済的支援)

■街づくり

■成長戦略 6本の柱

- ・観光
- ・企業立地
- ・基地と共生共生
- ・農水産業振興
- ・中心市街地の活性化
- ・国際戦略の推進

について多くの事をお話いただきました。貴重な時間を同友会のために割いていただき誠にありがとうございました。成長戦略の中で、知っている事知らない事がまだまだ多くあった事を知りました。これを機に我々中小企業も市政と共に成長していきたいと思うようになったと思いました。

質疑応答では、原田会員より中小企業振興基本条例についての質問と橋口会員から外国人雇用についての質問がありました。

例会のあとは、忘年懇親交流会にも参加していただきました。今年最後の忘年会で料理は八木会員の店で

提供されている料理で大変おいしくいただきました。

尾崎副支部長の乾杯から始まり、12月生まれの方(小松屋さん、橋口さん、古田さん、八木さん)へのケーキプレゼント、関ひろみさんへのバッチ贈呈、中島副支部長の最後の万歳三唱で閉会しました。

いつもながら、ほのぼのとした忘年例会でした。

(文責 永末 勝宏)



北松浦支部 例会報告

日 時	12月11日(木) 午後7時
会 場	池野酒店 吉井事務所
テ ー マ	『法知園のブランディング戦略』
報 告 者	(有)法知園 代表取締役 井手 眞悟 会員



1963年生まれの井手さんは農業に従事していた22歳の時、思い立って松浦市内に5坪のお茶屋を開き開業されました。それから取り扱い商品をお茶だけではなくギフト商品にまで広げられ1992年には会社設立、1995年には店舗を移転拡張され現在は2店舗13名の社員を有する事業まで発展させてくれました。

現在もお茶生産農家として又、ギフトショップ経営と2つの事業を行っています。まずお茶生産についての沿革を説明され当時2ヘクタールだった茶畑を現在は5ヘクタールまで規模拡大し近い将来は農業法人設立を視野に入れた計画をされています。生産したお茶はギフトショップが買い上げ慶事、会葬品などとして



主要商品の一つとして販売されています。

ギフトショップは設立当初、苦しい経営を経験しながらも順調に売上を伸ばしここ数年はギフト業界自体苦境を強いられている中、安定した売上維持を続けておられるとのことでした。

理由を推測すると、郊外の市町村では現在も親戚、近所付き合いが盛んであること、商品・従業員・サービスのクオリティを徹底していることを挙げられました。特に従業員の教育、意思疎通の徹底そして注文の共有を徹底するために「すっきりポケット」というアイテムをフル活用していると紹介されました。

今後のブランディング戦略として顧客リストの活用、直販も含め卸販売の充実、地産地消（消）を念頭に会葬品などの仏事事業の拡大などを発表されました。

井手さんの今後の活躍を期待して報告のあとのグループディスカッションも熱い討論がなされました。

(文責 上ノ原 宏二)



五島支部 例会報告

日 時	12月12日(金) 午後7時
会 場	はたなか
内 容	支部設立1周年記念例会兼忘年例会

今月の例会は、五島支部が発足して10月で1年が過ぎましたので、それを記念してあらためて五島支部ができるまでの経緯やご苦勞を、支部発足にご尽力いただいた松田相談役にお話していただくということで1部を松田相談役の報告、2部を忘年例会として行いました。

1部の報告では、海岸線の長さが北海道に次いで2位の長崎県なのに、離島に支部が無いのは残念ということで五島支部を創ろうとしたことや、これからの五島支部の在り方、方向性等をお話いただき、五島支部



会員にとって向かうべき道が見えたような内容でした。

2部は、諫早支部からおいでいただいた石橋さんや杉本さん、オブザーバー数名と共に今年一年お互いを労いながらの忘年例会を行いました。設楽例会委員長



が司会を務められ、会員企業の商品が当たるクジ引き等で、大いに盛り上がった例会でした。

2014年も各会員も無事に乗り切られたと思いますので、2015年も更なる飛躍の年になれるよう企業



活動と同友会活動に邁進していきたいと考えています。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	12月10日(水) 午後6時30分
会 場	炭火烧肉 牛若丸
内 容	臨時総会



今月の例会は臨時総会でした。会場は昨年と同じく、青年経営者会会員の山崎功さんのお店「牛若丸」で行いました。議事は青年経営者会の次期会長の選任ですが、現会長の山口善也さんがあと一年間の続投を熱望し、再任が満場一致で承認されました。

山口会長は親会や他支部との交流、そして他県の同友会との交流に特に力を入れて活動されておりました。そしてその流れの形が固まらないまま会長の任を降りることはできないという責任感の強い言葉をいただきました。新役員の人事構想も大きな変化はなく、青年経営者会としても安定した動きがとれるのではないかと思います。そして青年経営者会にも新しい会員が増えてきました。若さだけではなく、今後の長崎の経済を見据えた討論と経済交流が活発に行えたらと思います。

臨時総会が終了してから、同会場にて忘年懇親会を行いました。特上の黒毛和牛が美味しくて、お酒も会

話もすすみました。懇親会も大盛り上がりで、会歴の浅い会員とも親睦が深まりました。

楽しむところは楽しんで、でも真面目に、しめるところはビシッとケジメをつける。同友会の名に恥じない青年経営者会でありたいと、あらためて気を引き締めた夜でした。

(文責 橋本 裕次郎)



青年経営者会クリスマスプレゼント事業報告

今年もクリスマスイブ前日の23日、青年経営者会の有志で明星園と浦上養育院の子ども達にお菓子をプレゼントして来ました。サンタ衣装とトナカイの角を生やした会員が「メリークリスマス!!」と登場すると、とても喜んでくれました。一人ひとりにお菓子を手渡し、インフルエンザで寝込んでいた子にもドア越しにサンタの笑顔を届けることが出来ました。代表者の子どもさんからお礼の言葉をいただき、2014年最後の青経イベントを無事に終えることが出来ました。

(文責 山口 善也)



会員活躍

長崎新聞

12月3日

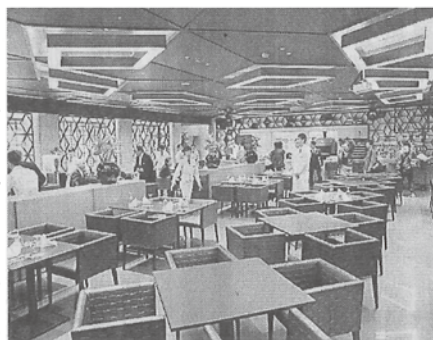
長崎支部 浦上地区会

吉田 清規 会員

佐世保支部

椎山 昇 会員

九十九島観光ホテル改装「フラッグス」 年間売上高 20億円目標



新設した地中海レストラン
『佐世保市九十九島ベイサイドホテル＆リゾートフラッグス』

佐世保市鹿子前町の九十九島観光ホテルが今月から「九十九島ベイサイドホテル＆リゾートフラッグス」に名称を変更、婚礼施設と地中海レストランを新設し運用を開始した。2日、同ホテルで祝賀会があり、関係者がリニューアルを祝った。親会社で冠婚葬祭業のメモリード（西彼長与町、吉田茂視社長）が昨年12月、

再生ファンドから発行済み株式を買い取り完全子会社化。婚礼や個人客を重視した事業戦略の一環で、約3億円を掛け1階部分約1600平方メートルを改修。今後は愛称「フラッグス」としてブランド構築を図り、年間売上高20億円を目指す。地中海レストラン「THE ONE（ザ・ワン）」はオープンキッチンとテラスを併設し総席数124。バスタや石窯で焼き上げるピザを中心に、九十九島近海の魚介類などを使った料理が楽しめる。約40種類のワインも用意。ランチセツトは2160円（税込み）から。

婚礼施設「ザ・ダイヤモンド」はオープンテラスに面した開放的な空間。席数は80あり、需要が高まっているプライベートウェディングを提供する。

祝賀会には国会議員や朝長則男市長、前田一彦佐世保商工会議所会頭ら、地元政財界から約700人が出席。吉田社長はあいさつで「新しい時代に対応した施設がようやく完成した。客室の改装も進め、魅力を高めていきたい」と話した。

(内野大司)

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員（長崎支部 出島地区会）



長崎同友会は12月17日、日本政策金融公庫（長崎支店・佐世保支店）および商工組合中央金庫（長崎支店・佐世保支店）とそれぞれ「中小企業支援に関する覚書」を締結しました。①中小企業等への情報提供

②相互の研修等への講師派遣 ③地域における経済情報、動向等に関する情報交換 ④個別企業からの相談対応 ⑤その他中小企業等の支援に寄与する事項の5つを連携の内容とし中小企業の経営安定および経営基盤の強化を目的とした覚書になっています。

同時に2社（合計4支店）には長崎同友会が今期作成したポスターを掲示いただき三つ折りのリーフレットも置いていただく運びとなりました。今後は日本政策金融公庫あるいは商工組合中央金庫を訪れた経営者の方がポスターやリーフレットをご覧になり、興味を持っていただくことで入会へのきっかけとなる可能性も十分に考えられます。

企業経営の血液といわれるお金の部分で徐々に会員企業に対して今回締結させていただいた覚書の効果が現れ、また各社との連携を深めていくことで地域が活性化することを祈念します。

（文責 事務局 峰 圭太）

企業支援で覚書を締結

県中小企業家同友会など県内の企業経営者らでつくる県中小企業家同友会（松尾慶一代表理事）は17日、日本政策金融公庫（日本公庫）、商工中金と「中小企業支援に関する覚書」を結んだ。経営基盤の強化や産業の創出で雇用を生み、地場産業の活性化を目指す。同友会は長崎、大村、諫

早、島原、佐世保、北松浦、五島の7支部があり会員数は535人。支部ごとに毎月例会を開き、それぞれの経営方針をテーマにした議論や、情報交換をしている。地域の経済情報を蓄積している両金融機関と連携を深めることで、信用力向上と経営基盤の強化を図る狙い。

覚書は▽経営相談業務▽地域経済情報の提供▽例会などを通じた相互研修会、講師派遣などを確認。本年度初めて作製した同友会のポスターを各支店に掲示し、入会も呼び掛ける。商工中金は同日、たちばな信用金庫（諫早市）と中小企業の支援強化に向けた「業務連携・協力に関する覚書」を交わした。全国展開する商工中金と地域に根差すたちばな信金の情報を共有。中小企業の新分野進出や事業再生といった取り組みを後押しする。（内野大司、山下陽平）



長崎新聞 12月19日

2014年度 全国事務局長会議 参加報告

12月12・13日（金・土）、全国事務局長会議に参加させていただきました。

冒頭は中同協：松井専務幹事から情勢に関する報告をいただきました。中小企業の立ち位置を明確にし、時代認識をつかむことであらためて今は中小企業の時代だということを力説されました。長崎同友会は情勢認識に関してはまだまだ取り組めていない部分もありますので情報をしっかりインプットすると同時にアウトプットできる環境を整備して行きたいと思います。

続いて兵庫同友会 田中代表理事から「同友会は事務局長の器で決まる～役員・事務局員と描くビジョン」という問題提起をいただきました。阪神大震災で影響

を受け、会社も同友会もどのようにして生き残っていくのか存続のための手段を考えられたそうです。その中で「言ったことはやる！」という当時の事務局長にはとても感謝されていました。中小企業の経営者は自分の会社をよくするために、経営指針を1つの手段として使い、黒字企業を目指している。事務局長もよい事務局をつくるために経営者としての目線を持ち、正副代表を交えた指針書を作成し、ビジョンを持たなければならないという強い激もいただきました。真剣に正副代表と議論できる事務局長であり、共有できる役員の育成に努めなければならないという問題提起もいただきました。また、局員個人の能力に頼らず体系的

に組織で対応する能力育成、会費未納会員に対する責任、書類に対する責任など“凡事徹底”の精神で事務局業務を行い、統括してほしいという要望もいただき身が引き締まる思いでした。役員になる会員はまずは黒字企業であるべきで、正副代表は決算書を見せ合いながら互いの経営をチェックする。事務局長も役員になる会員がどのような企業経営を行っているのか、企業訪問を軸に黒字企業会員から役員になってもらう習慣を身につけること、またそのようなことを正副代表に言うには勉強、学びが必要不可欠であること。代表理事を17年務められた田中代表だからこそ話せる、今までの歴史に沿った内容の報告をいただきました。

グループディスカッションでは各県同友会の課題を出し合い、今後の運動の方向性を議論しました。各県共通の課題として次世代の役員、核になる役員の育成が遅れているということでした。条例の進捗状況、会員増強に関する課題、例会の在り方、出席率の問題等に関しても長崎にないもの、また先進して取り組んでいること等自信と発見につながり、有意義なディスカッションができました。

2日目は中同協のあり方検討会議からの進捗状況報告に伴い、中同協行事、財政のあり方について議論しました。各県財政がひっ迫する中で、中同協の方針としては団体割等の値上げも検討しています。それに対



しての厳しい意見や、行事の整理等活発な意見が出ており、中同協も課題として吸収し今後の会議に参考にしていく方向性です。

現在同友会は地域や行政からの注目度が高まっています。そうした中で活動や運動をより幅広く、厚く行うためにも安定した財政を保ちつつ、事務局員も含めた人材育成が必要になっている時期です。まずは局内で連携をとり、役員と意思疎通を図り、今の長崎同友会に何が必要か、そのために局内業務をどう整理し、よりよい運動のために昇華させていくのか、課題を多くいただいた2日間でしたので、その課題と熱を忘れることなく日々の運動に活かしていきたいと思います。

(文責 事務局 峰 圭太)

第26回 中小企業憲章・条例推進本部会議 参加報告

11月5日、6日に開催された中小企業憲章・条例推進本部会議に出席しました。

1. 今年度の中小企業憲章・条例推進本部と政策委員会の体制について説明がありました。

2. 憲章・条例推進運動の到達点と今後の取り組み方針について①6月3日に実施した憲章・条例推進月間キックオフ集会の成果と今後の課題について、国会決議はそう簡単にいくものではないが今後も続けていく②全国の憲章・条例推進月間の中間総括と今後の条例制定・活用・見直し活動について、条例推進の運動と制定後の取り組みを強化していく③第46回定時総会、関連分科会の報告④「日本経済ビジョン」改定の進め方について、情勢が変化しており、それに対応していくことが必要である、等について報告と論議を行いました。

3. 慶応義塾大学の植田浩史氏から「中小企業振興基本条例制定後の対応～調査や振興会議（円卓会議）をどう提起するかのテーマで講演がありました。1. ①条例制定の最近の状況②条例の今日的役割、条例の意義 2. 条例が目指すものとして①地域が変わる②中小企業が変わる③中小企業振興への考え方を変える、など条例の役割と課題について 2. 条例の柱となる3点セット①中小企業振興の方向性の明確さと共有（条例）②現状を変えるためには現状に対する正確な認識と共有（調査分析）③地域全体で新しい体制と

問題意識による中小企業振興（協働の場としての振興会議）が重要であるとの講演がありました。

4. 二日目は政策委員会として、1. 活動報告 2. 税制に対する対応として①消費税引上げの再検討を求める決議（案）②法人税や外形標準課税について税制そのもののあり方について引き続き論議していくことを確認しました。3. 「経営者保証に関するガイドライン」対応状況と評価についての報告がありました。

2015年度国の政策に対する中小企業家の要望・提言の構想について、①憲章を国会決議とする②東日本大震災からの復興③エネルギーシフト④経営者の個人保証によらない「ガイドライン」の活用⑤中小企業が地域で仕事をつくりだすための支援の抜本的強化⑥景気回復を支え中小企業の成長に有効な税制などについて報告がありました。

5. 大林弘道氏から日本経済の不透明感が強まっている中で、政策の重要性が大きくなっている。①中小企業税制をなくしてしまおうという抜本的な考えがある②中小企業政策についても保護政策だと批判的な言葉で言っている。当面の課題にしっかりと対応すると同時に、中小企業政策がなぜ必要か理論武装することが大切であるとのコメントがありました。

6. 石渡裕政策委員長のまとめで閉会しました。

(文責 西尾 廣幸)

(株)長崎地研(佐世保支部 村山会員) 第36期 経営計画書発表会 参加報告

県下一斉！ 支部・地区対抗

今回も個人対抗のスポンサー賞も同時開催。

みんなの力で
目標必達！

●作戦名は？

challenge 600

●ミッションは？

パワー漲る仲間を増やせ！

●作戦決行日は？

2/9 (月) ~ 2/16 (月) 開催

問合せ
連絡先

長崎県中小企業家同友会 仲間づくり委員会
☎ 095-822-0680 長崎同友会事務局

「中小企業家しんぶん」2015年1月5日号付録

神奈川同友会創立

50
1965-2015

わくわく
神奈川
つながる心

環境変化に対応できる地域、組織、仕事をつくろう

未来を創造する
企業づくりへの

挑
戦

第45回

中小企業問題全国研究集会

日時

2015年

3/5 木 ~ 6 金

13:00-20:00

9:00-12:00

会場

パシフィコ横浜
会議センター

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL 045-221-2155

参加費

20,000円
(宿泊費別)

主催

中小企業家同友会全国協議会
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-16 市ヶ谷KTビル3F
TEL 03-5215-0877 FAX 03-5215-0878

設営

神奈川県中小企業家同友会

〒231-0015 神奈川県横浜市中区港上町5-80 神奈川中小企業センタービル3F
TEL 045-222-3671 FAX 045-222-3672

新入会員の皆さんです＜1月入会＞

(敬称略)

＜入 会＞

支 部 名	長崎支部 出島地区会			
氏 名	まつやま ちずこ 松山 千鶴子			
企 業 名	CPサロン ラピサーチエ			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒851-2211 長崎市京泊 3-23-13 ペぱにハ ウス 102 号			
T E L	095-850-2153	F A X	095-850-2153	
業 種	化粧品販売、フェイシャルエステ			
企 業 P R	平成18年6月にオープンし、毎年お客様が増え続けております。駐車場を4台確保しておりますので、遠方からのお客様も多数ご来店されています。 お値段がリーズナブルで効果の高いフェイシャルエステや、カウンセリング、メイクアップアドバイスでお客様のキープ＆ビューティーを応援いたします。			
スポンサー	庄司 博昭			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	おおこば やすお 大古場 康男			
企 業 名	(有)いしずえ			
役 職 名	取締役			
企 業 住 所	〒 859-3166 佐世保市木原町 324			
T E L	0956-30-7739	F A X	0956-30-7739	
業 種	造船部品、プラント関連の製缶			
企 業 P R	納期厳守、きれいな製品づくりをモットーにお客様に喜んで もらえる仕事を心がけています。			
スポンサー	堀地 充保			

2月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 2月24日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ ー マ 「社員が辞めない会社作り」
～社員一人ひとりが社長の会社～
報 告 者 (株)地中海 取締役
宮崎 涼子 会員(長崎支部 出島地区会)

24歳の時に夫と共に創業。常に前向きに働き続け事業を拡大され、現在は新築分譲住宅の販売をメインに行う。社員には常に経営者としての意識をもって働いてほしいとの想いから、社員自身の不動産取得の援助や自社の財務内容の透明化を推進。「社員が辞めない・辞めたくない」会社作りの仕組みと今後の展望について報告いただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 2月19日(木) 午後6時30分
会 場 メルカ築町5階ホール
テ ー マ 未定
報 告 者 ダンレイ(株) 長崎支店 相談役
木村 操 会員(長崎支部 浦上地区会)

当り前(本人の弁)の事を磨き続け、年月をかけ研ぎ澄まし現在では、お客様に強く支持される程の強みを持つ企業に育て上げた経営者の人生哲学、事業観、企業観をお話しいたします。

●大村支部

日 時 2月19日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 社員教育と言われても・・・。
報 告 者 ニコット・サービス(有) 代表取締役
江口 陽一 会員(佐世保支部)

社員教育についての報告で自社の教育についての気づきを促し各社の社員教育を共に考える機会とする。また、佐世保の座長制についても学びきっかけとする。

●諫早支部

日 時 2月24日(火) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 未定
報 告 者 チェンジコンサルティング合同会社 業務執行社員
宇土 敏郎 会員(大村支部)

●島原支部

日 時 2月19日(木) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ ー マ 『同友会の活動を知ってもらおう!』
～同友会活動をよく理解して会社経営に反映させよう!～
報 告 者 上田・横田(耕)・坂田・落水・三田・山口・敷島・横田
(健)・大町・池田・荒木・梅澤・永吉、および県フォーラム・全国三大会の参加者
(島原支部長・副支部長・相談役・ビジョン委員長・政策委員長・経営指針委員長・共育委員長・仲間づくり委員長・情報広報委員長・総務委員長・例会委員長・大会参加者)

同友会の活動内容って対外部だけでなく、意外と対内部でも理解してる人は少ないのではないのでしょうか。自分たちが参加している組織『同友会』をもっと知ってもらうために、各委員会の活動内容、県大会・全国大会への参加メリット、同友会活動や経営体験報告の実践が会社経営に与える影響などを各委員長・全国大会参加者・支部長より持ち時間一人5～10分ほどで体験報告してもらいます。会員必聴は勿論ですが、ゲストにも多数参加をしてもらい、『どんな秘密結社なのか』を知ってもらうにも絶好の機会と捉えておりますので、世界征服の第一歩として地域の悩めるゲスト経営者さん達と一緒に、同友会の楽しみ方について学びましょう!

●佐世保支部

日 時 2月20日(金) 午後6時30分
会 場 アルカスSASEBO
テ ー マ 未定
報 告 者 (株)長崎地研 代表取締役
村山 隆之 会員

経営指針作りの大切さと経営計画発表会などに関して大いに話していただく予定です。

- ※来賓は23名参加予定
- 3) ダイヤモンドクラブからの提案について
(前回までの進捗状況)
→ダイヤモンドクラブより名誉会員、功労会員に関する提案があり、各支部・地区会で検討いただいた結果、ダイヤモンドクラブの活動内容がなかなか見えないという意見があり、ダイヤモンドクラブから活動内容等をあげていただく予定。活動内容は検討中ではあるが、名誉会員、功労会員の提案に対する理事会の意見を今回明確にする(会費免除の件など)
→今回の提案に関して、偶然ダイヤモンドクラブから提案があったため、ダイヤモンドクラブの活動内容と合わせて検討することになったが切り離して考えたときに長崎同友会として名誉会員・功労会員制度を導入するか否かについて議論すべき
→総じて名誉会員・功労会員制度を導入するか否かの審議に対して、導入することを承認。ただし、会費免除等の詳細に関しては再度検討していく
- 4) 三役会の権限について
(三役会案)
規約の文言を変更することの提案
→次回理事会へ持ち越し
- 5) 会員名簿作成について
→アンケート案を上程
→顔写真をできるだけ多く掲載していただくため、アンケートの内容を変更して理事会メーリングへ流す。承認いただいた時点で全会員へ送付する
- 6) 情報広報委員会から個人情報保護法について
→入会申込書に添える文章案を提案
→承認(※退会した際に入会申込書を返却するかどうかに関しては継続して委員会で検討)
- 7) 長大山口先生から「水産と観光をキーワードにした産学官連携事業」に関する後援依頼について
(三役会案)
ガイドラインに照らし合わせても問題はないという判断
→承認

報告・連絡事項

- 1) 例会について(更なる例会の充実を目指して)(尾崎例会委員長)
年度末も近づき何かと忙しくなるかと思いますが出席率の向上に向けよろしくお願いします。
- 2) 日本政策金融公庫、商工中金との覚書締結について(松尾代表)
→締結した結果を報告
- 3) 2015年度合同入社式について(土井委員長)
→4月1日長崎インターナショナルホテルにて開催。オブザーバー参加も受け付けるため奮ってご参加ください
- 4) 県条例策定会議(12月16日)および意見交換会(1月8日)について(町田委員長)
→第2回目の策定会議をうけ1月8日に産業労働部と意見交換会を行う。理事の参加もよりしくお願いします
- 5) マスコミとの意見交換会について(永末委員長)
→町田委員長から紹介いただき日程を調整中
- 6) 外形標準課税適用拡大反対署名進捗について(峰事務局員)
→松尾代表と時間を調整中
- 7) 全国事務局長会議参加報告(峰事務局員)
→兵庫同友会田中代表理事から問題提起をいただき刺激と学びになった。
- 8) たちばな信用金庫ポスター掲示承認について
→吉澤委員長の紹介で全店基本的に掲示許可をいただく。14日までに納品

を終える予定

- 9) 2月28日(土)役員研修会について
第1部を中同協松井専務幹事に報告いただきグループディスカッション、第2部を支部、委員会の引き継ぎとする。また懇親会費は5,000円とする(前回理事会決議事項)
- 10) 事務局理念進捗報告(峰事務局員)→5つの柱を考え行動指針を作成中
- 11) 3カ月会費滞納者について一談なし
- 12) 2019年 中小企業問題全国研究集会(全研)について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
- 13) その他
・永末情報広報委員長より
同友会のHPに相互リンクを貼ることができます。ぜひ申請してください。広報誌電子化にむけて、3回ほど電子版と印刷版を両方配信します。その後、アンケートを実施し、どちらがいいのか調査します
・池野支部長より
松浦市の条例が議会で決議され、4月1日から施行になる。それに伴い拓殖大学山本先生が推奨するエコノミックガーデニングに取り組む予定。
2月16日に勉強会があるためぜひご参加ください
→詳細を事務局にいただき案内する
・事務局より、未来工業山田さんの本が出版されています。ぜひお買い求めください

決議事項確認

- ・1名の入会、1名の復会、5名の退会を承認
- ・2015年度に向けて松尾代表の活動方針案を承認
- ・予算案に関して全国大会補助費は距離に応じて変更することを三役会で協議し次回理事会へ提案。フォーラム参加費および補助金額に関しても財源をどのようにするか三役会で検討し次回理事会へ提案
- ・共有委員会から、社員研修に関する提案を承認
- ・企業連携に関して、長崎同友会らしいルールや方向性を三役会で検討し理事会へ提案
- ・女性部会、障がい者問題研究会に関しては再度中村こずえさんと来期の活動計画を検討し提出いただく
- ・賀詞交歓会に関して、予算案、式次第案を承認。各支部動員目標に対して努力することを支部長より宣言。席割に関して、一般の総会、フォーラムなどは来賓と理事の席を設けているが今回は賀詞交歓会という点と、立食ではなく着席にての懇親会のため行き来が困難であるという点から、来賓、理事、一般会員が触れ合う場を作る意味で来賓、会員ともにくじにより席を決めることを承認
- ・ダイヤモンドクラブからの提案について、長崎同友会として名誉会員・功労会員制度を導入することを承認。ただし詳細は今後詰めていく
- ・会員名簿作成について、顔写真をできるだけ多く掲載していただくためアンケートの内容を変更し理事会メーリングへ。承認後全会員へ案内する
- ・情報広報委員会からの提案について、入会申込書に個人情報保護法に関する文書を添えることを承認
- ・長大山口先生からの後援依頼を承認

次回日程…2月5日(木) 19:00～ つくば倶楽部

会員消息

●企業住所等変更

金田 昭子 会員 (長崎支部 浦上地区会)
新住所: 〒852-8145
長崎市昭和3丁目324-4
(株)インハウス内
新電話: 095-894-7101
新FAX: 095-894-7102

白濱 博隆 会員 (諫早支部)
新企業: ダイニング&釜めしJin(旧企業: (株)ふるさと)
新業種: 飲食業 (旧業種: 介護福祉)
新住所: 〒854-0066
諫早市久山町1747-1
新電話: 0957-47-6191
新FAX: 0957-47-6191

出口 美智代 会員 (大村支部)
新住所: 〒856-0837
大村市西本町548-1

●役職変更

谷川 和夫 会員 (五島支部)
新役職: 営業部長

会 員 数 (1月1日現在)

	長 崎 (浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	509
現在	203	111	92	61	63	37	107	24	537

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会員名	支部・地区会名	入会年月
和風すなっく すみれ	竹 下 順 子	長 崎 ・ 浦 上	2013年1月
(株)丸野	野 上 大 樹	長 崎 ・ 浦 上	2013年3月
(株)お茶の山口園	大 友 務	長 崎 ・ 出 島	2009年8月
(株)雲仙きのご本舗	楠 田 元 成	島 原	2011年8月